

□随想□

明治末期の

神戸

木村 毅
え・津高和一



岡山で汽車にのったのは、きつと夜の十二時ごろだったのだろう。神戸についたのは白々と明けかかりながら、まだ薄暗も、いくぶん低迷して残っている早昧であった。明治三十九年三月の試験やすみ。きつと二十五、六日の午前五時ごろではなかったか。

私は高等小学校の二年をおえて三年になった時で、数え年十三才の春だったのだ。そのころは、尋常科四年、高等科四年の小学校八年制度だった。神戸の第一印象として、今ものこっているのは、次第に明るくなってくる目の前に、無限の大きなガラス盤のような輝きをもって、展開されてくる目ざましい景観だった。

「これが海だな」

私は心の中にうなずいた。

私の郷国は美作で、中国地方でただひとつの、四境どこも海に接していない山国である。だからこの年まで海は見たことがなかった。

私ばかりではない。学校で先生が、

「海をみたことのある者？」

といっても、同級三十四、五人のうち、手を上げた者はひとりもない始末だった。

その級友たちのなかで私がまっさきに海を見たのだから

「よし、帰ったら自慢してやろう」

と、大得意になったこと、もちろんである。

日露戦争は、前年の明治三十八年に終って、翌三十九年といえは、すなわち戦勝の第一年。

それを記念して、大阪で戦勝記念博覧会がひらかれる。それを見るために、姉につれられて旅に出たのだ。

この姉は、薄田泣菫の「公孫樹下に立ちて」という有名な詩を献ぜられているので有名な津山の竹内女学校というミッシェン・スクールの出である。そのころ津山には、県立女学校がまだなかった。

そこを卒業すると、岡山に女子師範学校が初めてできたので、今度はそれに入って、その第一回

の卒業生として、県内では大へん珍しがられる女の先生だった。村に「束髪」を初めてもちこんで、近隣の百姓の娘さんたちに結ってやったのもこの姉だった。

当時のハイカラだったのだ。

どういふわけだったのか知らんが、神戸から大阪へ、汽車でのりつげば、わけなかったはずなのにここから電車にのりかえたのである。

始発の停留場までゆくと、私たち姉弟をからかうように、電車は出てしまった。

いなかの汽車のことを思っ、また二時間ぐらい待たねばならないのかと思っ、がっかりしていると、すぐかわりの電車がきたのには、おどろいた。

この時にもった神戸の印象は、海と電車とこのふたつだけである。私は小学校を卒業し、その翌年上の学校にはいる目的で、また出てきた。早く中学にはいった級友は、もう二年になっている。それにおくれたくないので、どこかの私立中学の編入試験をうけるつもりで、大阪の桃山中学か、神戸の関西学院を目標においた。(もっとも結局はどちらにも入らなかつたが)

そして一、二カ月、神戸に住んだことがある。早稲田の英文科出たての兄が、税関で通訳をして友人ふたりとともに楠公横の、つけ物屋の二階ふた間を借り、自炊をしていた。私もそこへころがりこんだのだ。

春さきになると、兄たちはよく、水菜をいれて鯨のすき焼きをした。私が鯨肉をくったのは、そのときが初めてである。明治四十二年の二月ごろ

だ。

それから楠公前の文房具へよく原稿用紙を買いにいった。そのころから私は、ひとつばしの投書家だったからである。その店番には、ぬけるほど色の白い美しい娘さんがいた。

「あれは、二代か三代前に、外人の血がまじったアイノコだ」

と兄がいった。なるほどと、私は感心した。

不注意な私のくせで、神戸の街のことは、あんまり記憶がない。

しかし岡本の梅園に花見にいったことは、はっきりおぼえている。

丘の起伏をうめて、見わたす限りの梅の花で、ようもこれほど、梅の木をうえたものとおどろいた。

花下に緋の毛布をしいて、弁当をひらいている家族づれが多かつた。腹がひどくへってきて、弁当をもたぬ私たち書生づれの一行は、みんながうまそうに食っているのが、うらやましかつた。梅の芳香に気づいたのも、このころが初めてで、きっと、すぎ腹にしみこんだのだつたであらう。

いま私は、松蔭短大に春秋、集注講義にゆく。青谷の千とせ会館という宿舎から、岡本の方を散歩してみても、家がたちつめて、五十年前の岡本梅園など、しのぶべくもない。

明治の終末ごろの神戸は、日本一の清潔なきれいな市街で、洋館がトランプ札をまいたような感じをあたえたが、いまはだいが汚れてきた。それでも私は神戸は、少年時代の印象から大すきである。

□随想□

夕焼雲と

工場のエントツ

高木史郎

え・津高和一

宝塚で現代モノのミュージカルは無理だといわれていたのを、ここ数年つづけてやっているうちに最近ではそう抵抗もなく受け取られるようになってきた。

その私の現代モノミュージカルには、いずれの作品にも夕焼雲と工場のエントツの見える場面が必ず現われる。私もひとにそういわれて気がついたのであるが、どうも私にはそういう映像に郷愁を憶えているらしい。

それは私が生まれ育った所が神戸の西、兵庫駅から五分程歩いて行った所の菅原通りであるからだろうと思う。

子供の頃、遊びつかれてふと遠くの空を見ると遠くのゴム工場のエントツの並んでいる上に、美しい夕焼雲が真赤に燃えていた美しさが今も強い

印象に残っている。

その頃はまだ私の家の近くはマッチ工場の広場が一ぱいあって、家もまばらにしか建っていなかった。

私はよく谷内六郎さんの画にも、それに似た場面があるので、一度谷内さんに舞台をやって頂いたこともある。その「虹色のタングステン」という作品は私には忘れられぬものとなっている。

最近その菅原通りの辺りを歩いてみたが、あまりの変りように子供の頃のイメージを求める何ものも無くなってしまっているの、淋しく思った。神戸の街はどんどんと変貌をとげつつある。昔

竹中工務店が神戸の小さな建築屋であった頃、私の父が菅原通りに鉄工所を開いて、その竹中工務店の下請のようなものをさせて貰っていた。そし



わ

て竹中工務店の手によって神戸に次々とビルが建てられていった頃、その下請によって私の父もそれらのビルのサッシュや窓ワクの鉄サクなどを造り神戸とともに伸びて行った。

私の父にとっては神戸のそれらのビルの一つ一つに種々の思い出があるらしく、一緒に海岸通りの辺りを歩いているとよくそれらのビルを眺めては感慨にふけていたのを思い出す。

子供の時の私の一番の楽しみは年に何回か神戸にたった一つしかない劇場、聚楽館へ連れて行って貰うことであつた。

私はそこで水谷八重子と夏川静江のチルチル・ミチルの「青い鳥」を見たことを今も強烈に憶えている。年何回か宝塚歌劇もやって来た。また五郎劇のようなものも見た。

そしてその劇場の天井の美しい天使の壁画を見るのが楽しかった。後になってその壁画が藤田嗣治の画いたものであったことを知って驚いた。

小学校五年生の時、家の近くの御蔵小学校から神戸の中心地の神戸小学校へ替えさせられた。

県庁前の神戸の玄関前に当たる神戸小学校はさすがに立派で、まるで台所から応接間へ移ったように思えた。さすが神戸の代表校だけあって、すべてが新しくハイカラで進歩的であつた。

第一私の好きな図画の時間などは、山手の教会や波止場の外国船などを写生に出かけて行ったりすることもあった。また音楽の時間には上野の音楽学校出身の山野井先生という方がおられて、私などはいつとも自由にピアノを弾くことを許して下さつた。

また時にはブラジルへの移民船が出る時には旗を持ち、ランチに乗せられて歌を歌いながら見送つたりしたこともあった。

こうしていかにも神戸らしい雰囲気を感じながら育つたことを今も心から幸福だつたと思つている。私はこの学校にいる間に画や、音楽や、作文の才能をぐんぐん伸ばすことが出来た。これがどんなに私のためになったかはかり知れない。

ところがそれから神戸二中へ入学したために、それからの五年間の暗黒時代を味あわねばならなかつた。

昔の神戸二中は、バンカラを売りものにした、質実剛健をモットーにしたおよそ非文化的な中学であつた。

それがおかしいことには、その非文化的な中学から神戸の代表的な文化人といえるような、竹中郁という詩人や、日本の代表的画家の、小磯良平、東山魁夷というような立派な方々を送り出している。後には私のようなレビュー屋まで現われたのだから全く不思議なことといわねばならない。

そのことで一度竹中郁さんと話し合つた時、やつぱりそれは一種の反動のようなもので、変り種が生まれたのだらうと笑いあつた。

神戸で生まれ、神戸で育つたものには誰も皆、神戸が忘れられない。私なども世界中で神戸が一番いいような気がする。

しかし私にはやはりあの兵庫のゴミゴミしたエントツのある工場のある風景、そして夕焼雲のある煙った空が私の神戸であり、私の郷愁であるようだ。

△宝塚歌劇団演出家▽

□随想□

変な思い出

桐山宗吉　へカットも



3月26日国際会館上演の“満重祝百年”の舞台装置、背景のみ（この前にいろいろ出ますが）

〔上〕 第一景メリケンハットバ近くの“内地雑居”の場面（浮世絵風に、色彩濃く）

〔下〕 第三景楠公社建立の場で、二の土饅頭と、光圀の建てた碑と樹立（写実風に）

なお、第二景吟松亭は歌舞伎舞台風。第四景山手の家は光と黒とで。フィ

ナーレ第五景相楽園はドミ・アブストラクト。

ませた中学生であった。大阪出入橋から神戸滝道までしかなかった阪神電車。たしか三十銭だったと覚えているが、それに乗って教会へ行き、英人伝道師に英語で会話できるのが楽しみ兼学習で月に一回ぐらい通った。

滝道から山手の平野近くまで、もちろん歩いたもので、市電は滝道から栄町を通過って新開地か、兵庫駅までしかなかったと思う。

教会からの帰りに一人で新開地をぶらついた。こわいもの知らずで福原の桜筋やら、元町のせせこましい横丁をさまよったり、これが「マセた中学生」のせいでもある。

新開地の角の聚楽館はたしか大正二年に建ったもので東京の帝劇を模して女優養成所を作り栗島狭衣（すみ子の叔父？）が初代の校長となったが横田指奈子という一期生のいたことを妙に記憶している。

湊川はすでに埋立てられ寂しいが公園もあり、

大通りには活動大写真なるものも五、六軒。ジントの鳴るサーカスの常設小屋、地廻りの歌舞伎芝居。楠公社の表門に大黒座（後の八千代劇場）西門には寄席や講釈場にならんで関東煮の屋台店や達磨転がしの店もあった。

福原へ迷いこんで、妓楼の表にはヤリ手と呼び込みをし、娼妓達は格子窓のあるとつぎの部屋にならんで化粧などをしていた。すなわちチラシで新しい妓の頭の上に「初店」と書いた紙フダがさがっていたり、そのチラシが廃されて写真になったのも大正になってからであるが、迷いこんだ私をヤリ手と呼び声をかけなかったし、娼妓達も知らん顔をしていた、いくら図体が大きくても中学生商売の対象にしてもらえなかったからだろう。妙なめぐり合せで爾来一生私は娼妓というものを知らずに暮らした。変な潔癖。そして引張られでもしたら全力をふりしぼって逃げ出したろうがそこまで気がつくでもなく、何でも知リたがり、コナン・ドイルなどウロ読ミしていた探検家気どりのせいでもあったろう。

元町は鈴蘭灯などずっと後で、その曲りくねった横丁へはいるとヘットやラードの匂いが鼻をつき、西洋一膳飯屋ともいうべき、一皿十二銭のライスカレーや十五銭のカツレツがあり、それからもちろん高架になっていない国鉄で、今の元町駅の少し東に三宮駅があって、そのトアロードの踏切の南角にパウリスタができていた。

一ぱい五銭のコーヒは中学生にとって無上のハイカラさで、そしてロシアの水兵などが輪になり歌いながらウクライナ民踊（今にして思えば）に

おどり興じていたり、商館の若い外人に英語で話しかけてジロリと見られたり、しかしコーヒの習い始めでもあった。南京街から元町の、その三、四丁目ともなれば横丁や裏通りに花隈の姐ちゃん達の屋形があつて昼間でも稽古三味線の音が表へもれていた。六つから踊りを習っていた中学生はその稽古をヘタやなあと生意気だった。

花隈では光村利漢大尽が写真道楽で、後の照葉（南地と東京で鳴らした美貌の妓、今の京都祇王寺庵主）がいて、その写真を着色絵ハガキにして売出したり、そんな噂をその頃盛大だった又新日報などという新聞が仰々しく書いていた。後年大正末期にこの又新日報へ数え年二十八で社会部長にしてみらつて神戸へ来て以来、現在に至るまで住みついたのだからこれも妙な因縁ともいえようか。

明治と県政と神戸開港のいづれもが百年になるので祝賀舞踊「満重祝百年」という舞踊台本を書き、伊藤俊輔県令やら神田兵右衛門、藤田積中、北風莊造のことや楠公社建立、瓦煎餅の発祥など文献を調べたが無論多少のフィクションを加えて劇舞踊にしている。それに明治百年で古いことは皆がいろいろ書いている。しかしどれも文献からだ。私の記憶は末年でしかないが、海岸通り華商がキンコ（ナマコの干物）を梱包していたり、突堤がなくてメリケン波止場だけだったり、正午にドンを鳴らす大砲があつたり、そんな話も知る人は少なくなつたろうと思う。エライとしより臭いことを書いたがまだ若いつもりでいる。

（兵庫県観光連盟専務理事）



洋服ノ粹

渡 邊

春の陽に
白く光る
大和屋のシャツ



紳士シャツ・専門店

大和屋シャツ

三宮センター街 ㊿ 6956



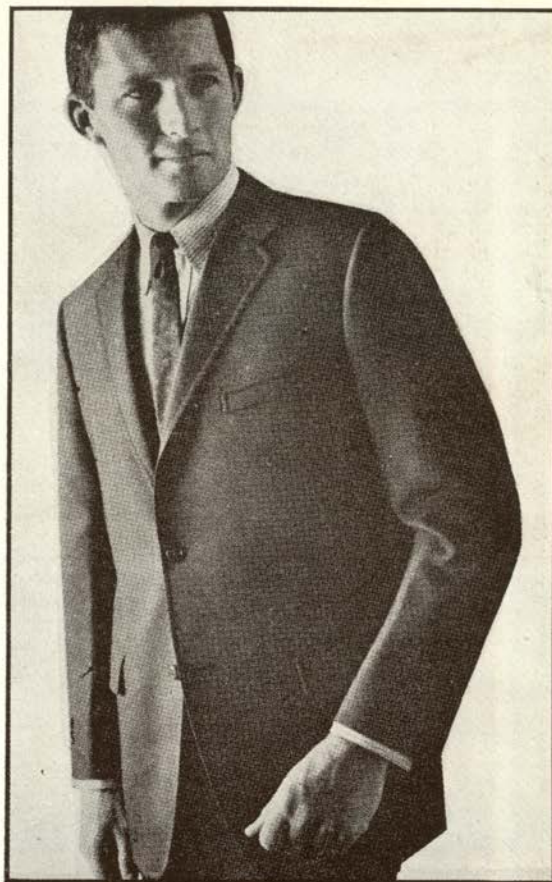
sagen Sie Pelo
wenn Sie das Harmonische lieben

Geburt Christi, Schnitzerei,
ottonisch 10. Jahrh.

日本販売元

元町バザー

神戸・元町 東京・日本橋・白木屋



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町通 4 丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋 2 丁目 大阪 231-2106

未来にはばたく神戸の町に



●出席者

宮崎辰雄<神戸市助役>
 横山俊郎<兵庫県企画部長>
 小泉徳一<小泉製麻KK社長>
 西村雅司<西村写真研究所々長>

水谷穎介<大阪市大都市計画研究室>
 貝原六一<洋画家・行動美術>
 永田良一郎<永田良介商店社長>
 菊水啓輔<菊水総本店社長>

★万国博に間にある

県政一〇〇年事業に県民会館

司会△編集部▽今年は、神戸市が開港一〇〇年。県の方でももちろん県政一〇〇年を迎えるわけですが、そこで、現在、神戸のかかえている問題、これから神戸はどうしていくべきかなどをザックバラに話していただきたいと思います。県の方の問題から特に神戸とつながりのあることから話していただきますようか。

横山 慶応四年五月二十三日に兵庫県が創立されたわけで、それを新暦に直すと一八六六年七月十二日になります。七月十二日の記念式典をどうするかについては、場所だけは国際会館の大ホールというところで具体的には、まだ決まっていけません。記念式典をやるだけでなく、一〇〇年を記念して後世に残るような行事を考えているわけで、県民会館をつくる構想があります。地下二階、地上一〇階で延面積約六千坪、集会室、図書室、講習会のできる教室、国際会議のできる会場をもったもの。その他、美術館もぜひやりたい。三年前より、一〇〇年史をつくることを計画し、兵庫県の編さんが進行中で、七月の式典には間に合う予定です。ねらいは、古文書を集めて後世のための資料収集というより

も、誰でも親しみをもちて読めるような読物兵庫県史というような内容のものにしたいのです。たまたま一〇〇という数字に因んで、郷土の先覚者の百人集というのを五〇〇頁位でつくり簡単にその人たちの遺績を紹介する。その他、記念行事として子供病院をつくるとかリハビリテーションセンターをつくるとかいう話もあります。国の方でも一〇〇年記念事業で、自然森林公園を整備しようとして兵庫県では、鶴甲山周辺の国有林の私下げがでて、県民の憩の広場をつくろうと、目下調査中です。司会　それで、市とも関係があるだろうと思うのですが、「夢のかけ橋」などは？

横山　それはご存知のように、今岡山県と競争になっていて、昨年一月には国の方で決定するはずだったのですが、こちら兵庫県の運動が激しいものだから、もちこされて今年の七月頃には決まるでしょう。われわれとしては、ぜひ明石―鳴門架橋を第一にとりあげてほしいと県、市、商工会議所、徳島県、高知県と一体になって言っています。決まるのは、こちらじゃないかと思うけれど予断を許さない状態ですね。

貝原　淡路の国際空港というのは具体性があるのですか？
横山　具体性があるのかという質

問は非常にむずかしいのですが、いずれにしても、大阪国際空港が行き詰まるでしょう。そこで何らかの第二国際空港を考えなければならぬ。それでいろんな調査をやったところ淡路が一番適地ではないかということ、県と市が一緒になって推進しているわけですがまだ技術的に調べなくてはならないところがありまして、多少時間はかかりますけど、メドはあると思います。ぜひ実現したい気持ちです。

貝原　そうすると、県政一〇〇年としては、印刷物とか講演とかは式典までに間に合うが、あとのは一〇〇年を規準にして、そこから記念的なものをつくろうというわけですか。

横山　建物は、県民会館が間に合います。県庁の前に全但がありますね、あの間に出来る予定。敷地が約千六百坪です。

貝原　そうすると、兵庫県が催す一〇〇年祭は比較的地味ですね。

横山　市の方が、神戸開港一〇〇年祭を非常に派手にやるということなのでまた、県も対抗して派手にやるというのでは目立たないから、それで一つ地味にやろうと……できれば、これは一つの県民のお祭り、休日にしようという声も出ています。

貝原　兵庫県というのは大きな県

ですから、県民全部が、ああ県政一〇〇年だ、おめでたいなあというムードはつくりにくいですね。

★兵庫県は南北軸を積極的に直結させよ

小泉　しかし、もう県というのは行政単位としては小さくなって、一体感というので盛りたててくてもいいのではないでしょうか。むしろ広げていくという方が……。水谷　東海道メガロポリスの方はほっておいても、できることだし好むと好まざるとに関らず、そういう方向に向っている。その時にいろいろな都市公害というまづい要素をつくりながら。兵庫県の非常にいいところは、東西の軸の方向だけではなく南北の方向に軸をもった地域をもっていることで、それを生かしていかなければならない。例えば、日本海の方をどう使うか、その手前の山間部をどう使うか、太平洋岸即ち阪神間をどう使うか、それそれをかなり意識してやるのが大事じゃないか。東西軸の汚水とか、海水浴ができなとか空気が汚なくなるとか……それを解決しようとするれば、南北軸は非常に有効です。山間部でキャンピングをするとか日本海で海水浴をするとかいうことと、農業や水産の仕事との調和を大事にしていく必要がある。遅れている

進んでいるというのではなくて、その地域でしかできないことを積極的に見つけていくことが、大事だと思いますネ。

司会 特に経済関係の方のご質問はありませんか？

小泉 兵庫県というのは、西への関門になってますね。やはり交通に力を入れていかねばならないと思います。陸の方は、新幹線も高速道路もできますけれど、船も技術革新で速くなるのではないでしようかね。そうなると、ますます神戸というのは、港があればこそ発展したんだという意味でも、労働力にしても、阪神間というのは西日本に依存してますね。ですから、西への関連ということで交通政策を考えていただくのは、私どもとしては、大変ありがたいです。

水谷 瀬戸内海を単なる運河にしてしまえばいいとか、埋立ててしまえばいいと言われるのには反対で、もっと自然の美しさを生かして使った方がいいと思う。

海の輸送技術そのものは、もっともっと革新されていくと思いますけど。

横山 「南日本国道」というのがあって、今の淡路―鳴門架橋、四国を東西に走る国道、九州の佐賀の関からフェリーにのって国道十号線につながる北九州ないし南九州に行くというこの道路が整備さ



□宮崎辰雄氏



□横山俊郎氏



□小泉徳一氏

れば、山陽道と両方つかえます。四国と九州が神戸、大阪に直結する。こういう構想でいろいろ運動しています。

小泉 大工業の立地というのは、一定の限度があつて裏日本に大工業をつくるというのは無理ではないでしようかね。非常に特殊性のあるものはどんどんできていくと思いますが。

横山 大きなコンビナートというようなものは実際問題として出来ないでしようね。そういう意味では、阪神間は過密で公害がでている状態ですから、これからは、姫路周辺を中心に大企業が立地されるでしようね。

小泉 神戸からは出ていきますね出ていかざるを得ませんね。

水谷 原材料系のもは出ていきますね。日本の場合、国に資源がないわけですから……。石油にしても鉄鋼にしても、ただ施設をつくってしまつたから、それを償却する時期までは外にでられない。次はもっと外に出てもいいのではないかという気がする。大都市では地価が高いわけですから、単なる原材料系のもをつくるのは損ですよ。もっと加工度の高い技術開発センターにしていかないと損です。やはり日本の場合には外から仕入れてきて、それをどれだけ加工性の高いものにして国際的に

輸出できるかというのが役割で、それしか勝負はないわけです。

小泉 やはり貿易とか港湾に関係のある産業が、神戸や阪神間にずい分できると思いますね。

西村 この間、出石に松下電器が工場をつくっているのを見て、最初は農村の潜在労働力をねらったんだなと思ひ、興味をもって聞いてみたわけです。果して農村で人が集まるだろうか。すると、来なくて困まるというんです。むしろ逆に、なんとかいう大きな会社が東京のド真中で一〇〇人集めたとか。

菊水 そういう面で人の問題というのはこれからも問題になるでしょうね。だが農村とか地方にはいいものが残らないというのは全般的な傾向ですね。秀れた奴は町に出て、どんなん何かをやる。

小泉 兵庫県の北部の人間が、南部の人間と結びつかず大阪、京都までいつている。北部の特色を生かして、それを南部に労働力を求めることが行なわれていけば問題はないわけですが、神戸や姫路にはきていないというのが実状です。貝原 僕らも裏日本に写生にいつて一番感じるのはそれですね。京都が多いですね。

小泉 兵庫県は、西日本の関門だといながら、兵庫県が顔を向けているのは、いつでも大阪なり京



□貝原六一氏



□永田良一郎氏



□水谷顕介氏

都なんですよ。岡山県、鳥取県等西日本に顔を向けて言ったなんていうのは、ほとんどないわけですよ。それで非常に問題があるんじゃないかと……。神戸が、又兵庫県が商圏を拡張することで、岡山なり四国の方に伸びていくことよりも東を向いていくことの方が多いわけですよ。西日本の関門だという以上、もう少し、西日本のことを主体になってやらなければいけない。金井知事になってから岡山県とも鳥取県とも話合いになったようですが、今までそういう機会が少なかったように思います。

★日本のなかでユニークなものとなる美術館建設や芸術活動を

貝原 美術館にしても、これから広島、岡山を相手にしてつくらないとダメだと思う。そうなる分離宮公園ということになる。美術館を都心へというのですけど、東京でも京都でもモータープールがないですよ。モータープールがないような美術館は、今後ダメになっちゃう。モータープールがあると岡山、広島から二時間で自動車でこれる。徳島、香川からもこれる。

水谷 美術館というの、どういう企画でやっていくのかはつきりさせておかないと、その使い方も

いろいろあるわけですから、この美術館はどういう線で行くのかをバツと決めておかないと、建物だけたてたって仕様がないうけですよね。

僕は美術館運動を外から見ていると分らないけれど、県の美術館というのはいかに建物をたてれば話がすむんだというような……。美術館をどう使い、西日本の地方に対してどういう役割を果そうとするのかバイジョンが全くでてこない貝原 今のところ、性格づけというのを県の方で研究している。

ただ絵を並べるだけというのだったら、そういう大きな構想の美術館をつくることはおそくない。

東京都の美術館位の規模をもつのではないか。そうなったら性格をはっきりきめて、兵庫県の美術館センターであると同時に、西日本の美術館センターになるべきだと思う

兵庫県の美術館の場合、今まで大阪の美術館を使う率が非常に大きいのです。大阪の美術館の使い方というのがギャラリーシステムなんです。要するに絵を並べるだけで、何とかコレクションとか、美術館として当然特色をもたねばならない問題が、京都、大阪でも忘れられている。そういうものは、やはり兵庫でつくる場合には、考えていかねばならない問題だと思う。ギャラリーだけというのは意味が



□菊水啓輔氏



□西村雅司氏

ないと思いますね。兵庫県というのは、文化県とか絵画が多いといわれるのに、そういうものがなかったですよ。これは大阪に依存しているのがとても大きかったということになる。

菊水 兵庫県というポイントで考えるか神戸市というポイントで考えるか、とにかくそういうメンタルな施設のないところですね。いわゆる市民ホールというものがほ

とんどない。ようやく体育館ができたけど、それマイクだ、音響効果だとムチャクチャでもものにならない。文化人も多いのに、文化の高い都市であるのに、市民ホールがない。だから市民が集まって演劇をするとか歌をうたうとかということが全然ないのを未だに残念に思っています。図書館にしましても、蔵書は変わっているのでしょうけど、私達が子供時代に勉強にいった時とそのままなんです。

小泉 とにかく観念的に言う大阪市神戸区のような……(笑い)

水谷 神戸がこれから勝負する時、大阪を対象にしていたらダメで、東京・世界を対象にしたらダメ、東京に比べて、もし神戸に比べるとすれば、どうすれば日本の中でユニークなものとなるかを考えないと、演劇にしたって絵にしたってダメですね。演劇の問題にしても、東京に新しいホールがどんどんできて、東京でしかやっていないものが多いわけです。そういう東京に対して神戸は何も量は大きくなくてもいいから小さくても非常にユニークなものをつくるにはどうしたらいいかを考えなくてはいいけない。美術館にしてもしかり。神戸の場合、港を通じて世界につながっているわけですから、東京を通じては広がれないことを、神戸を通じて世界に広がる

ことは何かを考えなければダメだ
と思う。

小泉 その場合に大阪と神戸を一
つに考えた方がいいのではないで
しょうかね。大阪にないものを、
例えば六甲山にしても海にしても
ずい分もっている。市民で大阪に
通っている人がたくさんいる。

水谷 でも、日曜日には梅田には
誰もいなくて神戸で買物をする
、それと同じことで、もっと素
直な気持ちで神戸のもっているよ
さを發揮できることをやっていか
なくては――。

小泉 せっかくの六甲もあまり活
用されていない。割合に文化施設
とかいうものに対しては、原口市
長さんは港ほど熱心ではないとい
うか……(笑)。

水谷 広い地域のためにサービ
スするために移動図書館にする。
もっと広い世界のためにサービ
スするのだったら、個室型の勉強
室や研究室を豊富につくって、ユ
ニークな資料がある神戸にきて研
究するとうる風にする。京都は、
日本文化館の構想の中で貸書齋とい
うのをつくっているが、ああいう
形のをどどんつくっていか
ない。文化というのは広く開い
て考えないと競争に負けますね。

★神戸っ子の

定着率(81.3%)に
見る合理的市民性

宮崎 神戸の場合、市民が環境が
よすぎて、みんな一歩つっこんで
やろうというところまでいかない
のがむしろ問題ではないですか？
菊水 神戸の市民性といいますか
神戸人かたぎと申しますか、非常
に冷たいそうですね。

宮崎 そのくせ、ある調査により
ますと、その土地に住みたいとい
う定着率は、神戸が一番高い。そ
の次が京都でした。それが京都と
神戸では全然ちがう。京都では京
都で生まれて京都に住みたい、神
戸では他所からきて神戸に住みた
い人が多い。これに対しておもし
ろいことをいった人がいて、京都
の人は加茂川の水が逆に流れても
京都に住むんだという愛し方をする。
神戸の方は、合理的で住みやす
いから住むんだというこれがある
し合理的に住みやすくなければ、
荷物かついでどこかに行つて
しまふ(笑)。

菊水 この冷たい市民性が、小さ
い街ですのに、日本一の大きな生
協ができた、スーパーマーケット
が育つたりする。結局、非常に
植民地的なんですね、考え方が。
父の代から買っているから、少し
高いけどあそこで買おうとかいう
のではなく、とにかく新しくて安
ければどこでも買うという合理
的の市民性が強い。神戸の人とい
うのは盛り立てる気持とか愛着心と

かいうものが少ないんですね。

宮崎 ある意味では、それが近代
的なんじゃないですか。今の調査
は、学者が中心になって六大都市
の生活環境なり生活度の調査をや
ったのですが、その時、京都が割合
高いんです。その代り、京都は、い
わゆる地縁関係のものとそこに住
みたいというのが、だいたい同じ
比率なんです。神戸の場合は、地
縁関係というのは、3%位で非常
に少ないわけです。それで一生涯
住みたいという人は、91・3%な
んですからね。圧倒的です。日本
でこんな街は他にありませんよ。
だから、神戸というのは、非常に
いいということが分ります。ただ
それは神戸に縁故があるから住み
たいという感じはない。ここがい
いから住むので、住みにくくなっ
たらでていくんだという連中ばか
りです。その神戸の人間というのが、
花森安治君に言わすれば、ち
よつとおつちよこちよいで薄情だ
といひます。それで隣近所うるさ
くない、あつさりしているという
こともある。それと同時に地縁に
はこだわらないんだな。そこにも
つてきて気候的なものもある。そ
れに海があつて山があつて風土が
きれいだということですね。

★海水浴場が減つたので

プールを増設！

ゴーフル

風月堂

神戸っ子にはお菓子通が多い
その鋭い舌感を
永年、魅了し
つづけている
この「味」と
香り……



神戸にそだって 70年

 風月堂

元町3丁目 TEL 33 2412~5
さんちかスイーツタウン TEL 33 3455



呉井陳藏

みよーや

電話神戸 33 三三八八~九番
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪 55 五五四八番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話 姫路 23 一二二一番
衣裳部 三宮町三丁目柳筋
電話 33 五一六五番

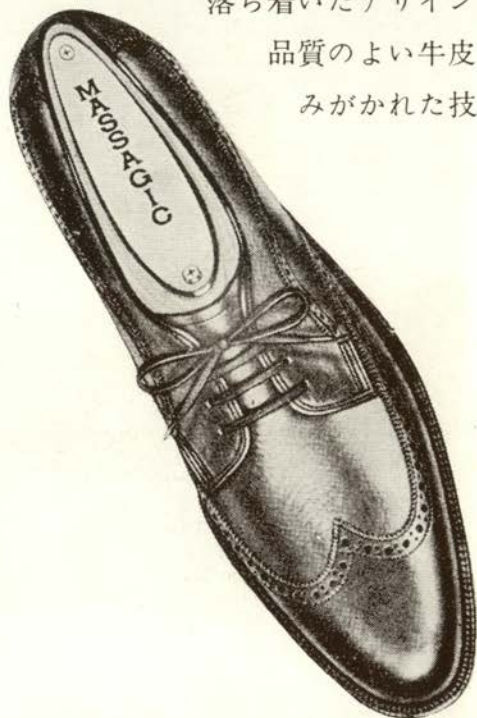
宝石・貴金属・時計



仲庭

さんちかタウン (39) 4593
 梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
 桜橋 毎日新聞社前(341)0412
 新大阪ステーションストア
 大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

落ち着いたデザイン
 品質のよい牛皮
 みがかれた技



★靴のオーダーメイド

ヨシオカ

神戸大丸前・33/5190・9763

小泉 神戸市で計画しておられる開港一〇〇年の事業をご説明下さいませんか。

宮崎 まだコンクリートのものになっていないので、そういう案があると考えていたきたいのですけど、式典をやるのか港祭りをいっしょにして五月十五日にやってみようとか、それは港祭りとだいたい同じで、違う点というのは、ロッテルダムとの姉妹都市提携をやるわけですね。ロッテルダムというのは、ニューヨークを凌駕して現在、取扱貨物のトン数が世界一の港です。今まで県はワシントン州、市はシアトル市との提携はあったのですけど、港湾同士の提携というのは初めてなんです。神戸市というのは、市はすなわち港湾ももてるのですが、向こうは港は港でポート・オーソリテイという全然別個の機関でやっている向こうが別にやっているものから、シアトル港と神戸港との提携ということになっている。そういうのが式典の中では変わったことです。仕事としては記念事業的なものを考えているのですが、その一つは貿易センターをつくるということです。商工会議所も貿易協会も中に入ってもらいたい。港関係、貿易関係のものをそこに一堂に集めるというわけです。どの程度のものになるか確定はしてませ

んけど、45億から60億位のもんです。他に諏訪山から再度山修法ヶ原にかけて、この一帯を神戸の中央公園にするという計画なんです。これは記念事業とは別なんですけど、埋立てが完成に近いわけで埋立て完成の記念として、ここから六甲、有馬にロープウェイを敷いて、六甲開発をやらうと考えています。体育館をつくりたい。また、青少年の体位の向上のために、臨海地帯を埋め立てて、海水浴ができる場所が減りましたからそのお返しとして、プールを増設しようと考えている。公式のプール婦人用、子供用プール、すべての人が入れるような円形の大きなものをつくる。そこに球技場を二面つくるとか、運動公園をつくるとか、これを開港一〇〇年と埋立て完成を記念してつくろうと計画しつつあるわけです。予算は約一〇〇億くらいになります。

西村 六甲山の上から、埋立地までケーブルカーを通すとおっしゃったけれど、埋立てのところまでローラーコースターをつくってほしい。山上から一息にサーッと……（笑い）それから海洋気象台にクックの12インチの天体望遠鏡があるんですけど、十何年間、ハトの巣になって、そのまま眠っているのです。管理人もいないのです。これは七、八年前までは、こ

の天体望遠鏡を扱える人が一人だけあったのですが、その人が転勤してしまったら、あの天体道具はそのままだってしまった。事実私は写真もとってききましたが、クックの12インチの望遠鏡といえは世界でも珍しいので、あそこに置いておいても仕方がない。それの一つ六甲山に移して、一般人、小中、高校生に開放するなりしたらよい。これはぜひお願いしたい。それを国際的にもPRするとか、やはり何か一つのポイントがなければ、人は来ません。夢のかけ橋でもできれば別だが。

★神戸は

港湾都市・住宅都市で生きる

小泉 どういう街でありたいか、世界の街の中でもいい、どこか神戸が目標にするような街はありますか？

宮崎 チョットありませんけど、私は、神戸の街というのはご承知のように、この頃のように工業が大型化してくると、神戸の従来の市街化では工場をつくっていくというのには、地域が狭すぎるんじゃないか、そういう風なことで神戸を発展させていくというのはムリじゃないかと、せいぜい埋立て位で、それもほとんど埋立てしてしまっているし、そこで、神戸は、やはり港を中心とする港湾

都市、あるいはこの頃よくいわれる第三次産業すなわち、運輸、交通、サービス、商業を中心とした街にする。あるいは住宅都市にしていくなが必要があると思う。これをやる場合、一番障害になるのは、横山さんもご存知のようにそういう町では、町が成立っていないです。すよ。これにわれわれは矛盾を感じる。みなさんは税金を納めるとおっしゃるけれども、学校をつくらたり上水道下水道をつくらたりそっちの方が高つく。だから、住宅が多くなるとその町は損をするわけですよ。そういう面で、財政制度というのはおかしいですね。財政制度を改正してもらい国が負担し、その代わり、工場地帯から取り上げてやるという、こういう考えをとらないと、住宅都市になろうとしないですよ。ですけど、神戸市は将来、住宅都市として生きたいですね。

小泉 神戸はこういう街に動いていくんじゃないかというような、これからの見通しはどうですか。
水谷 神戸の場合は、今いわれましたように、住宅地のよさというのを一番大事にしなければなりませんね。傾斜があつて、住宅としての環境のよさをもっていた。しかし、北野町にしても青谷にしてもほとんど一建立ての家がつぶれてマンションが建っていく。身近

かな問題としてこわいのは、神戸の住宅地のもつていたよさが、下手をするとつぶれてしまうのじゃないかということに対して、何も手が打たれていないことです。それを、どうして防ぐのかという方法は、そういう建て方ではなくて他によい建て方がありますよとモデルを示すより他に行政的にはやり方がないのではないかと思います。かなり平らに宅地造成してしまいましたが、鶴甲山なんかもつと傾斜地を利用して、コンクリートの階段型のアパートをつくるとか……。すべての部屋から海が見渡せて、人間はたくさん入るし緑はあるし、景色はいいというモデルを一つ近いうちに建ててほしいですね。

★神戸に西日本開発情報センターをつくれ！

水谷 まだいろいろあります。文化施設とか公共施設というのは、官公庁街として一カ所に集中するようない方だったわけです。僕はそれはあまりいいことではないと思う。街の中に川やベルトのように浸み渡っていくことこそいいことだと思つてゐるわけです。上に住んでいて下におりてきて喫茶店やレストランがあつて、そちらに行けば画廊があつて横では小劇場があるとか、そういうことの方

が意味がある。神戸の場合には、幸いにして、そういういい流れをつなぐ広場が、ぼつぼつと町の中にあるわけですよ。文化軸のようなものを北と南にまわしたい。学校とか労働会館とか厚生会館とか灘のお酒の会館とか、そういうものをつないで、山麓と海岸ぞいの文化軸をズーッと町中まわしたい。何も沢山お金をかけなくてもできるような気がする。行政機関が文化軸……文化の道のようなアイデアを示してもらいたいですね。文化の散歩道にサインボードを立てる。その通りに面している人は、将来、文化の道になりますよと言え、市民もそれにふさわしい施設をつくる。幹線道路に工場が建ち並んでいくように。そういう一つのシンボル操作というふうなものをお願いしたいわけです。次に商業の情報センターとして神戸の問屋さんを作る必要があるだろうと。その場合に、問屋さんというのは、神戸の町の生活のよさを十二分に発揮できるものでなければ……。生活コンビニナートというのを積極的に。第二阪神も近いし、車の便もいわけだから、東灘の第四工区などでは、神戸の中では中途半端なところだけれども、あそこにお金はかけなくても、非常にいい生活卸売業というのを積極的に開発していく必要があるだろ

う。それからもう一つ。神戸はやはり西日本の情報を握らなければならぬ。歴史的なよさというのは京都にまかせた方が無難だし、神戸は、これから開発していくものに對する知恵をどうやってつくっていくのかという線。明石架橋をやっているし、港をやっているし、そういう「開発情報センター」というのを積極的につくってほしい。そういう意味で評価しなければならぬのは、調査室の「調査月報—明石架橋資料」です。月刊であれだけのものを出しているというのは実に驚くべきことです。その時データを扱うこととなりますと、海洋気象台、神戸大学の建設工学研究所、それに今度できる貿易センター、など三つ位を組み合せ、きめの細かい、これまでの実績にもついたものをぜひ。兵庫県では、南北軸の中央に自然の山野をそのままに、子供の国を……子供が創るブラジリアともいうものをぜひ。

宮崎 生活センターというようなものに仕立てあげていったらというお話があったわけですけど、これで現実にととなると、むづかしいと思います。今、食品コンビナートをつくろうと、魚市場を中心として、輸送関係もあつめて食品関係の流通センターにしようとしている。小麦粉を入れたらバ

ンになって運ぶような食品コンビナートをつくろうと計画が進んで現実にほとんどその割当てがすんでしまった段階なんです。ですから、これを直ちにじゅうたん、カーテン、家具にまで及ぶような大きな生活コンビナートにしていくなことが可能かどうか自信がない。アイデアとしてはいいけれども具体的にどういう風につくるかはもう少し研究したいですね。いわゆる地域開発、新しい開発の情報センターというのは、おっしゃる通りに、何か実現させたいですね。

★開港百年祭に市民の

カーニバルをやるよ！

宮崎 とにかく、神戸は歴史では京都や奈良にはかないっこないのであってちょっとバタ臭い町にせよと言っているわけですよ。開港一〇〇年の行事の中に、今まで懐古行列をやっていたが、今度は、カーニバルを加えろといっているわけです。

全員 それはいいですね。大賛成ですよ。

宮崎 クリスマス・イブの時なんか、紳士諸君が仮装したり、お面をかぶったりして、三宮あたりをウロウロしてますよね。ああいうので少し規模の大きいのをやりたいと、また、その審査もやろうじゃないかと……。

永田 世界中の料理が一べんに出せるような屋台店をこしらえようということが以前に提言されてましたね……（笑い）。

貝原 東遊園地あたりにね。港祭りの日は、オフィス街は休みでしょう。だから、水性塗料はあとで洗ったとれるのだから、道路に色を塗りつけて（笑い）、コースをきめてみんなで歩いたり、誰とでもダンスができそうなムードをつくったらいいでしょネ。

西村 パリ祭りの夜の再現みたいな小泉 港祭りが市役所の祭りであって、市民の祭りでないという批判が多かったが、そういうカーニバルとか、本当に市民が喜んで参加できるような催しを考えていったらいいと思います。

宮崎 カーニバルというのは、幸か不幸か、日本には、そういうのはありません。ヨーロッパでは道路にでも喫茶店がでたり、バンドを聞きながら、コーヒを飲んだりして、夜の一時、二時頃までやってますよ。ああいう感じを、何とか出せないものかと考えていたのですが、日本では行政的にもこれを許さないというのが習慣だった。でも仮りに建設省が怒ってもいいから、思い切って市役所の東側の舗道を広くしてそこに喫茶店を並べろといっているのです。日本では全面舗装ではないので砂け

わりがたつて非衛生だとか、いろいろ障害もありそうなのですがそんなことをいつていたのでは、何も新しいことはできないので、一つやってみようと思つてゐるのですよ。赤や白の屋根にして、ビーチパラソルを並べたりして…。

水谷 カーニバルの時には、どこかの道をバツとして車を入れないで大ブromナードにするという具合に、実験をどんどんやつていったらいい。

宮崎 市民もそういうことにもう少し寛大であつてほしいですね。

あまりに批判精神が旺盛で、それはまあいいことですけど、もう少し実験に関して寛大であつてほしい。それともう一つ、露店でも何でも一度認めてしまつと、過去の例からすると、そのままそこに定着して不法占拠になる。「のけ」というと「生活権をどうするのか」とくる。湊川公園にしても、露店で許可しても、そこに家を建ててしまふ。そういうことをやらないようにしてほしいですね。

水谷 そういう時に、批判精神を発揮すればいい。

宮崎 だから、市民ももう少し寛大であることと、ルールを守つていただくことです。これを守らないと、町は発展しませんね。

★神戸は未来に 生きる町であれ！

司会 いよいよ最後のまとめですが、今、神戸は大事な時期だから文化のことについても商売についても真剣に考える時ではないかというお話もあつたのですが、その姿勢について。

水谷 いい意味の実験はどんどんやつていつてほしい。おもしろいアイディアもたくさんあるが、それを実行していくのが大事です。

西村 建物を建てるためのプランというか、そういうような神戸っ子というか、神戸人の特殊性、神戸に育つた人間、あるいはそれに適合する人間の像はこういうものだというのを、ひとつ神戸市の方でPRしていただくとおもしろいと思うのですが。

横山 むつかしいですね。

宮崎 一人一人意見やビジョンがちがいますからね。

西村 そういう風な方にもつていかないと……。神戸には神戸らしい一つのものとして神戸っ子とこういうものなんだと、また決めてしまつてもいいんだけど、しかし何かこう一つのものがほしい。

宮崎 もし、そういうのを出すのだったら、やはり民間の中から出してきて、最大公約数的なものが浮かんでなくては本当のものでは

ないと思う。役所の方でも、三十五年後の神戸市全体のマスタープランというのをつくりましたが、それはフィジカルプランですけど、神戸っ子の望む神戸の姿というふうなものは、役所が作つたのではないかなでしょうね。

これはいっぺんにはつくれないし、「神戸っ子」の編集部でも、ほうぼうから意見をききつつ、少しずつそういう像をモンタージュのように、神戸っ子のビジョンをこしらえあげて下さいよ。

水谷 要するに、神戸という街は、歴史にこだわらず、現在やつてゐることが、未来に対してどれだけ価値があるかということで評価していつてほしい。

その方を徹底的にやつた方が、スケールが大きくなる……。

（S42・1・21
オリエンタルホテルにて）
附記

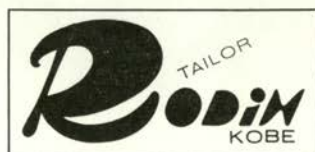
二月十三日の神戸一〇〇年祭協会で五月十五、十六日の事業計画を決め、新しく「神戸カーニバル」が追加されました。

（八十九頁参照）

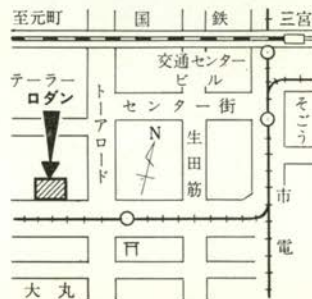
×	×
×	×
×	×



緑の風が坂道をふきぬける
三月のコウベの町に新しく
エリートのファッションを
創る「テラー・ロダン」
が開店いたしました。
お気軽にご来店ください。



市電三宮神社電停北側
TEL : 39-2003



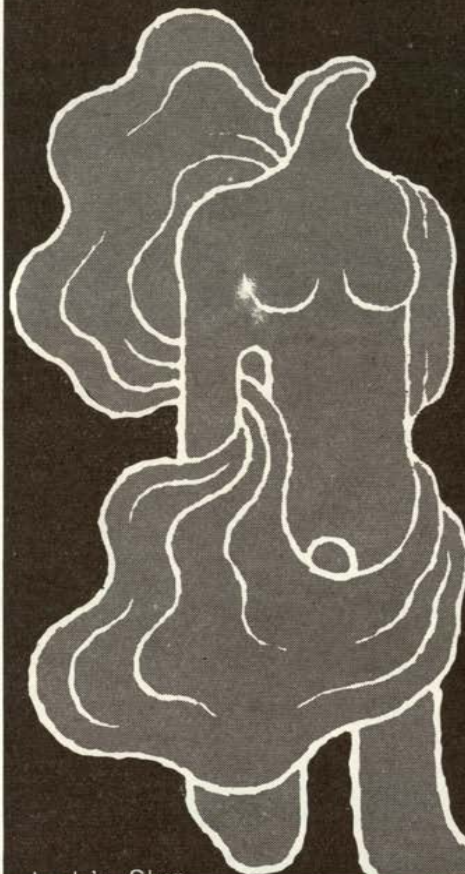
イースターに花の帽子を！



マキシン 帽子のおもめは
全国有名百貨店でどうぞ

婦 人 帽 子
マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL 神戸33-6711-3 TEL 東京535-5041



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689